



桑名市と NTN 株式会社によるマイクロ水力発電装置を用いた

発電実証実験の開始について

NTN 株式会社（以下、NTN）と桑名市は、NTN が開発したマイクロ水力発電装置を用いた発電実証実験を開始します。

現在、災害時の非常用電源としてマイクロ水力発電が注目されています。NTN は、長年にわたる軸受の研究開発で培った技術力を生かし、非常時に最も重要視される照明と情報機器など最低限の充電電力を得るための可搬型水力発電装置の開発を行っています。

桑名市は、本年7月から（仮称）「スマートエネルギー構想」の策定を開始し、「エネルギーの地産地消」「賢い省エネ・節電」「環境教育の推進」など今後のエネルギー施策の充実を図っています。

今回、桑名市総合運動公園の「せせらぎ水路」を利用したマイクロ水力発電装置の実証実験を共同で行うことで、装置の実用性について評価を行うとともに、再生可能エネルギーの普及に向けた市民への啓発を行います。

1. 実験の主な内容

- マイクロ水力発電の実験内容について、発電量や発電によるLEDライトの点灯状況、最適な発電条件、及び実験により発生する問題点等の情報共有を行います。
- 災害時のマイクロ水力発電装置の利用方法等についての研究を行います。

2. 実験の期間

平成24年9月から概ね1年間程度

問合せ先

経済環境部環境政策課 電話 0594-24-1181



ゆめはまちゃん